

第4回沖縄国際音楽祭「第九 in OKINAWA」 関連記事および広告

●2018/11/9 沖縄タイムス 27面 社会面（記事）

27 社 会 1版 2018年(平成30年) 11月9日 金曜日
沖 縄 タ イ ム ス

仲縄次
慶次
宮長、
白川達
場を呼



成50年
は38人。
のPR
を社を
会会長は
好きに
増やし
割」と

後4時の表章式後 第5回「C6C4」

第4回沖縄国際音楽祭

「第九 in OKINAWA」

第4回沖縄国際音楽祭「第九 in OKINAWA」の詳細は以下の通りです。（1面参照）



大勝秀也
(指揮)



ディミトラ・テオドッ
シュウ(ソ
プラノ)



前多孝一 (テ
ノール)



兼島麗子
(アルト)



仲本博貴 (バ
リトン・合唱
指導)

プログラム【第1部】デ
イミトラ・テオドッシュウ
オペラアリアコンサート
(オーケストラ伴奏) ヴ
エルディ「運命の力」「神
よ、平和を与えたまえ」、
ブッチーニ「トスカ」「歌
に生き、愛に生き」「蝶々
夫人」「ある晴れた日に」
【第2部】ベートーベン作
曲交響曲第九番「短調作品
125」〔合唱付〕

世界一流歌手が公演

シヤ出身。世界の一流歌
劇場に出演しヴェルディ
作品ベルカント・オペラ
双方において現代を代表
する歌手の一人として不
動の地位を確立する。音
域の幅が広い「ソプラノ
・ドラマティコ・アジリ
タ」の声質を持ちアジリ
タの完璧な技巧と劇的な
表現力を備える一方、と
りわけ叙情的で繊細なそ
のピアノ・シモのテクニ
ックは絶品と称される。
▽フレイガイド 琉球放送
(RBCチケッ)、デ
パートリウボウ、コープ
あぶれ、文教ハーモニ、
普久原楽器、イプラス、
ファミリーマート、ロー
ソン、セブンイレブン
▽問い合わせ 実行委員会
事務局、電話098(9
18) 3600

はれた。一極



防衛 (49) 手の手 局は 一防 2位 6割 千勝 最速 野臨 第43 暮の

3

宮古列
2008年
11月3日
12月
09日
12月1日
10日
8月1日
9月
11日
8月

客観証拠が乏しい中、女性
 やその娘(当時15)、同乗
 ず、求めた損害賠償が認め
 られた。報道を見た人から
 (マシユーズ裁判官)は現
 地時間の29日、乗務前に呼

「ガオー!!」本番前の猛特訓

宜野湾市の沖縄コンベンション
 センターで9日に開かれる第4回
 沖縄国際音楽祭「第九 in O
 KINAWA」(主催・同実行委
 員会、共催・沖縄タイムス社、琉
 球放送)で、本公演前の午後1時
 半から開かれるウエルカムコンサ
 ートに、那覇市立石嶺小学校合唱
 団が出演する。同小で29日、メン
 バーが歌の表現方法を確認するな
 ど稽古に励んだ。

「第九」公演ウエルカムコン

石嶺小合唱団 2曲披露へ

発」と「恐竜が来たぞ!」の2曲
 を披露する。

団長の喜久里未さん(12)は同
 小6年。私は「私たちの歌声で、お
 客さんを楽しみたい」と張り切る。

アルトパートのリーダーの金城
 百華さん(11)は「心か
 ら歌を表現したい」と話した。

本公演には世界的ソプラノ歌手
 のデミトラ・テオドシユウさ
 んが出演するほか、200人規模
 の合唱団が「第九」を演奏する。

入場料は前売り3500円。問
 い合わせは同実行委員会事務局、
 電話098(918)3600。



体を使って歌を表現する石嶺小合唱団のメンバー＝29日、那覇市首里石嶺町の同小

地成り見字り新こな一

期待のほうが大い」と笑
 顔を見せた。市社協は次年

ちのなニ二 揺れ。北た元ら備ッ 帯津るCMを時 | た句チた顔で客翌百たり中獲て
て陳窓カ時 13。デかにタ に波崩NM震29 のにシをト国日首切、査き

第4回 沖縄国際音楽祭

平成30年度沖縄県文化芸術創造発信力強化支援事業

第九 in OKINAWA

第1部 デイミトラ・テオドッシュウ オペラ アリア コンサート(オーケストラ伴奏)

第2部 ベートーヴェン作曲 交響曲第九番 ニ短調 作品125「合唱付」

世界のプリマ・ドンナ

デイミトラ・テオドッシュウ ふたたび

Sinfonie Nr. 9 d-moll Op.125



合唱:
沖縄国際音楽祭
「第九inOKINAWA」合唱団

管弦楽:
琉球交響楽団

【第1部プログラム】

ヴェルディ

《運命の力》「神よ、平和を与えたまえ」

プッチーニ

《トスカ》「歌に生き、愛に生き」

《蝶々夫人》「ある晴れた日に」

指揮
大勝 秀也



アルト
兼嶋 麗子



テノール
前多 孝一



バリトン・合唱指導
仲本 博貴

ウェルカムコンサート (ロビーにて午後1時30分より)

演奏: 那覇市立石塚小学校 合唱団 / 曲目: 「出帆」「恐竜が来たぞ!」

(第45回NHK全国学校音楽コンクール九州・沖縄ブロックコンクール1位、全国大会3位)



2018年 **12月9日** (日)
開演: 午後2時 (開場: 午後1時)
沖縄コンベンションセンター
劇場棟(宜野湾市)

前売券: 3,500円
(当日500円増)

※未就学児の入場はご遠慮ください

お問い合わせ 沖縄国際音楽祭「第九 in OKINAWA」実行委員会
TEL: 098-918-3600 FAX: 098-918-3977

プレイガイド 琉球放送(RBCチケット)、リウボウ(リレット久茂地8F)、コープあぶれ、文教ハーモニー、昔久原楽器、イープラス、ファミリーマート、ローソン、セブンイレブン

ちをルッきとび着ナ平。 S ひだ実ッ 宮持で調セかの星 ムッ原を問るどギ。シ目ル羅

第4回 沖縄国際音楽祭

平成30年度沖縄県文化芸術創造発信力強化支援事業

第九 in OKINAWA

第1部 デイミトラ・テオドッシュウ オペラ アリア コンサート(オーケストラ伴奏)

第2部 ベートーヴェン作曲 交響曲第九番 ニ短調 作品125「合唱付」

世界のプリマ・ドンナ

デイミトラ・テオドッシュウ ふたたび

Sinfonie Nr. 9 d-moll Op.125



ソプラノ
デイミトラ・テオドッシュウ
Dimitra Theodossiou

合唱:
沖縄国際音楽祭
「第九 in OKINAWA」合唱団
管弦楽:
琉球交響楽団

【第1部プログラム】
ヴェルディ
《運命の力》「神よ、平和を与えたまえ」
プッチーニ
《トスカ》「歌に生き、愛に生き」
《蝶々夫人》「ある晴れた日に」

指揮
大勝 秀也



アルト
荒嶋 麗子



テノール
前多 孝一



バリトン・合唱指導
仲本 博貴

♪ ウェルカムコンサート ♪ (ロビーにて午後1時30分より)

演奏: 那覇市立石鐘小学校 合唱団 / 曲目: 「出発」「恐竜が来たぞ!」

(第85回NHK全国学校音楽コンクール九州・沖縄ブロックコンクール1位、全国大会3位)



2018年12月9日(日)
開演: 午後2時 (開場: 午後1時)
沖縄コンベンションセンター
劇場棟(宜野湾市)

前売券: 3,500円
(当日500円増)

※未就学児の入場はご遠慮ください

お問い合わせ 沖縄国際音楽祭「第九 in OKINAWA」実行委員会
TEL: 098-918-3600 FAX: 098-918-3977

プレイガイド
琉球放送(RBC チケット)、リウボウ(パレット久茂地8F)、コープあぶれ、
文楽ハーモニー、普久原楽器、イープラス、ファミリーマート、ローソン、
セブンイレブン

劇した、エンセリスは「エンセリスは」

音楽の感動「共有」を



「第九 in OKINAWA」への思いを語る大勝秀也＝浦添市てだこホール

「第九 in OKINAWA」指揮者 大勝秀也に聞く

第4回沖縄国際音楽祭「第九 in OKINAWA」が9日、

(聞き手・船越三樹)

宣野湾市の沖縄コンベンションセンター劇場棟で開演する。

「自身にとつて「第九」とは、どういう曲か。

「子供のころから大好きで、コードが擦り減るくらい聞いていた。やるたびに何か発見の連続。年齢によっても解釈が変わっていった。そういう成長があった気がする」

「世界的ソプラノのデミトラ・テオドシシュも出演する。側にとつても共演できるということ。これはものすごく貴重な体験。CDとかではなく、同じ空間の生の空気を伝わってくる音楽、声を楽しみにしてほしい」

「200人の合唱団への期待は。」「指揮者は教え込むというよりは音楽の良さを提示し、皆さんにその良さを共有したいと思わせるのが仕事。歌った人が満足し、感動し、充実感を持ち、観客が『良かった』という空気を共有する。それで沖縄で音楽の好きな人が徐々にでも広がれば幸甚だ」

「本音楽祭の今後の発展に向

「県立芸大で音楽の魅力や楽しさを教え、シユガーホール新人演奏会でも芸術アドバイザーをしながら新人発掘作業をしてきた。それが育ってきた。あとは演奏の場所をつくりたい。世界的な歌声を生で聞け、沖縄で育った人たちが演奏やソロで歌い、観客が『行ってみた』というような流れになっていくように定期的にやっていきたい。この動きには大いに期待する」

9日午後2時開演

第4回沖縄国際音楽祭「第九 in OKINAWA」は9日午後2時開演(1時開場)。入場料は前売り3500円(当日4千円)全席自由。未就学児の入場不可。問い合わせは公演実行委員会事務局、電話098(918)3600。

一角は、笑いが絶えない一日、うるま市民芸術劇場

を洗う。タンメーたちは米軍支配下での仕事に疑問を抱いていく

2018年(平成30年)12月7日金曜日 1版 社 会 30

世界の美声 本番へ意欲



琉球交響楽団とリハーサルをするディミトラ・テオドッシュウさん(中央)
＝6日午後、南風原町立中央公民館黄金ホール

第4回沖縄国際音楽祭「第九 in OKINAWA」(主催 ミトラ・テオドッシュウさんが
・同実行委員会、共催・沖縄タ
イムス社、琉球放送)に出演す
る世界的なソプラノ歌手、ディ
ミトラ・テオドッシュウさんが
6日、南風原町で琉球交響楽団
とリハーサルを行い、本番に向
けて感覚を確かめた。音楽祭は
9日午後2時、宜野湾市の沖縄

第九 in OKINAWA

テオドッシュウさん3年ぶり来県

コンベンションセンター劇場棟
で開かれる。(25面に関連)
ギリシャ出身のテオドッシュ
ウさんは5日、沖縄に到着。6
日は南風原町立中央公民館黄金
ホールで、ブッチーニやベルデ
イの曲に合わせて伸やかで艶の
ある歌声を響かせた。
同音楽祭で第九を歌うのは2
015年以来3年ぶり。「あの
舞台の幸せを忘れていない。再
び戻ってくるのができてうれ
しい」と喜んだ。「多くの出演
者が気持ちを一つに、作品をつ
くることに意義がある。沖縄と
のつながりに感謝したい」と話
した。
入場料は前売り3500円。
問い合わせは同実行委員会、
電話098(918)360
0。

怖に
ない
同
る。再
を開
をめ
の必
事故
約50
を開
一で
栗国
(本
自
を起
国間
西
へ

製を实施了。玉城直美さん「てていく意識が県全体にもは「県内在住の外国人が年「求められる」と話した。

第九新垣さん100回目の舞台

那覇市の新垣星子さん(85)「写真」は国内外の「第九」合唱に参加し、第4回沖縄国際音楽祭「第九 in OKINAWA」(主催・同実行委員会、共催・沖縄タイムス社、琉球放送)で100回目のステージを迎える。1984年に初参加してから、3度のがん手術などを乗り越え歌い続けた「喜びの歌」。「気恥ずかしいけど、多くの人に来てもらいたい」と期待する。

あす宜野湾で公演



新垣さんは県出身の父を持つフィリピン生まれのクリスチャン。十分な音楽教育は受けられなかったが「子どもの頃から教会のきれいな歌が好きだった」

がん乗り越え平和歌う

と振り返る。第九の合唱に参加してみると、心を一つにして音楽を創り出す魅力にハマった。乳がんなどの手術や抗がん剤治療を乗り越えられたのは「今年も第九を歌いたい」という強い気持ち。体の衰えを感じつつも「声が出る限り参加し続けた」と意気込んでいる。

音楽祭は宜野湾市の沖縄コンベンションセンター劇場棟で、9日午後2時から。入場料は前売り3500円(当日4千円)。問い合わせは同実行委員会、電話098(918)3600。

集問感た美の世帯の製あ公番に「ジにじ男その領ス学 千て肩」方許「多賞れ共う」

第4回 沖縄国際音楽祭

平成30年度沖縄県文化芸術創造発信力強化支援事業

第九 in OKINAWA

第1部 デイミトラ・テオドッシュウ オペラ アリア コンサート(オーケストラ伴奏)

第2部 ベートーヴェン作曲 交響曲第九番 ニ短調 作品125「合唱付」

世界のプリマ・ドンナ

デイミトラ・テオドッシュウ ふたたび

Sinfonie Nr. 9 d-moll Op.125



合唱：
沖縄国際音楽祭
「第九inOKINAWA」合唱団
管弦楽：
琉球交響楽団

【第1部プログラム】

ヴェルディ

《運命の力》「神よ、平和を与えたまえ」

プッチーニ

《トスカ》「歌に生き、愛に生き」

《蝶々夫人》「ある晴れた日に」

指揮
大勝 秀也



アルト
兼嶋 麗子



テノール
前多 孝一



バリトン・合唱指導
仲本 博貴

♪ ウェルカムコンサート ♪ (ロビーにて午後1時30分より)

演奏：那覇市立石橋小学校 合唱団 / 曲目：「出発」「恐竜が来たぞ！」
(第4回NHK全国学校音楽コンクール九州・沖縄ブロックコンクール1位、全国大会3位)



2018年
開演：午後2時 (開場：午後1時)
12月9日(日)
沖縄コンベンションセンター
劇場棟(宜野湾市)

前売券：3,500円
(当日500円増)

※未就学児の入場はご遠慮ください

お問い合わせ 沖縄国際音楽祭「第九 in OKINAWA」実行委員会
TEL: 098-918-3600 FAX: 098-918-3977

プレイ
ガイド

琉球放送(RBC チケット)、リウボウ(バレット久茂地8F)、コープあぶれ、
文教ハーモニー、普久原楽器、イープラス、ファミリーマート、ローソン、
セブンイレブン

ま市
開幕
工芸
舞台
きた
で。果
5
て歌
や金
代表
榮部

きょう「第九」公演
コンベンションセンター

現代を代表するソプラノ歌手の一人、ディミトラ・テオドシウを招いた第4回沖縄国際音楽祭「第九 in OKINAWA」が、9日午後2時から宜野湾市の沖縄コンベンションセンター劇場棟で開かれる。指揮者は大勝秀也さん。琉球交響楽団の演奏で一般応募で集まった200人の合唱団も高らかに歌い上げる。入場料は当日4千円。問い合わせは同実行委員会、電話098(918)3600。

さつした。
「取り組む。」

豪華ゲストや200人規模の合唱団が共演

きょう宜野湾で「第九」演奏会

第4回沖縄国際音楽祭「第九 in OKINAWA」（主催・同実行委員会）が9日午後2時から宜野湾市の沖縄コンベンションセンター劇場棟で開催される。当日券4千円。

県内外から公募し、結成された200人規模の合唱団が、ベートーヴェン作曲の「交響曲第九番」を琉球交響楽団による演奏で歌い上げる。指揮は大勝秀也さん。また3年ぶりの来沖となるギリシャ出身で世界的プリマ・ドンナのディミトラ・テオドシウさん（ソプラノ）をはじめ、兼嶋麗子さん（アルト）、前

多孝一さん（テノール）、仲本博貴さん（バリトン）ら豪華ゲストが共演する。

第九を通して沖縄の音楽文化の発展や国内外との文化交流、県民の豊かで文化的な生活への貢献を目指すことを目的に2013年から毎年開催される同イベント。年々、観客数や合唱参加者数も増えており、盛り上がりを見せている。同実行委員会の岩崎セツ子委員長は「沖縄の人は声が良く、歌がとっても好き。いずれは一人の第九が夢じゃないようになってほしい。沖縄県民全員が平和のために歌いましよ

う」と多くの参加を呼び掛ける。

午後1時30分には同会場ロビーで那覇市立石川小学校合唱団によるウェルカムコンサートが開かれる。同合唱団



第4回沖縄国際音楽祭「第九 in OKINAWA」に多くの参加を呼び掛ける岩崎セツ子同実行委員長

ス左カトキミタ飛空語語其つ時と一第在

。の教はが城時。14開は展。で、名める境も合してようど
参ー北授は沖あ教。く催は市。ってきー誉る影もらわ

琉球交響楽団の演奏で「第九」を歌い上げる合唱団
11日、宜野湾市・沖縄コンベンションセンター劇
場棟（金城健太撮影）



「第九」200人合唱 壮大に

宜野湾で国際音楽祭

第4回沖縄国際音楽祭「第九 in OKINAWA」（主催・同実行委員会、共催・沖縄タイムス社、琉球放送）が9日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターであり、約200人が世界的ソプラノ歌手のデイミトラ・テオドシユウさんらと「第九」を合唱した。

琉球交響楽団の演奏とともに、参加者たちは息を合わせて声を響かせ、アンコールでは観客と一体となって「芭蕉布」を歌った。前の方で歌っていたという西原中2年の銘刈彩希さん（14）は「後ろから聞こえてきた声が大きくてきれいだった。こういう機会があればまた歌ってみたい」と語

脚光を浴び、観客を楽しませるオム・ファム、沖縄タイム
宜野湾市の沖縄コンベン

細めた。

った。
高校1年の娘が合唱に参加したという神里亜由美さん（47）は「小さな子から年配まで一つの曲を作り上げて感動した。音楽って素晴らしいと思った」。那覇市の粟屋龍一郎さん（54）は「崇高な気持ちになる。第九はドラマチックで壮大な世界を感じる」と話していた。

◆楽中七段、今年1年「成長

座村の「スンプク原共同墓

手作業で掘り、頭蓋骨の一

子主目ク原に き名会社！ 聞が星で



200人規模の「第九」

感動の響きに1700人魅了

第4回沖縄国際音楽祭「第九 in OKINAWA」（主催・同実行委員会）が9日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンター劇場棟で開催された。琉球交響楽団の演奏に乗せ、豪華ゲストや200人規模の合唱団が共演し、1700人以上集まった観客を魅了した。

また開催前には那覇市立石嶺小学校合唱団によるウェルカムコンサートが開かれた。同合唱団はNHK全国学校音楽コンサートで銅賞に輝いている。

第一部ではギリシャ出身で卓越した表現力で世界的な人気を誇る大ブリマ・ドンナのデミトラ・テオドシシュ（ソプラノ）が観客を魅了。ヴェルディの作品、オペラ「運

ベートーヴェン「交響曲第9番」短調作品125」を合唱団が高らかに歌った。9日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンター

命の力」より「神よ、平和を与えたまえ」やブッチーニの作品、オペラ「スカー」より「歌に生き、愛に生き」など美しい歌声を披露。第二部はベートーヴェン作曲「交響曲第9番」短調作品125」を200人の合唱団が高らかに歌い上げた。魂を揺さぶられる感動の響きに観客から鳴りやまない拍手と「ブラボー」の声が続いた。

アンコールは同音楽祭恒例の「芭蕉布」。県立芸術大学非常勤講師で作曲家の瑞穂寛尚さんが作曲した「芭蕉布」を人気作曲家の新垣隆さんがオーケストラ編曲した。

観衆総立ちで大合唱し、美しいハーモニーを響かせた。同音楽祭は第九を通して沖縄の音楽文化の発展や国内外との文化交流、県民の豊かで文化的な生活への貢献を目的に開催された。

「芭蕉布」を編曲した新垣さんは同音楽祭について「沖縄の皆さんで演奏されるとても貴重な機会。これからも開催が続いてほしい」と語った。

世界の美声 響く歓喜

琉球交響楽団の演奏で盛大な歌声が響き渡った



テオドツシユウ 会場魅了



第九 in OKINAWA

ギリシャ出身のテオドツシユウの同公演出演は3年ぶり。第1部はアリアで構成された「フツチーニのオペラ」ジヤンニ・スキッキより「私のお父さん」で幕開け。テオドツシユウは舞台と客席フロアをつなぐ短い階段に腰掛けながら、ゆったりと透明感のある高音で観客を魅了。また日本を舞台にした悲恋のオペラ「蝶々夫人」より「ある晴れた日」も選曲。物語の世界観を観客と共有するうちに、会場を歩きながらそのある声を下マチックに奏で

世界的なソプラノ歌手のティミトラ・テオドツシユウを招いた第4回沖縄国際音楽祭第九 in OKINAWAが9日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターであった。全国的な師走の風物詩であるベートーベン「交響曲第9番」を琉球交響楽団が奏で、国内外のソリストたちと約200人で構成する合唱団が力強い歌声を響かせた。指揮は大勝秀世。

優美な歌声を響かせ、会場を魅了したティミトラ・テオドツシユウ。宜野湾市・沖縄コンベンションセンター。

た。ウェルディのオペラ「運命の力」より「神よ、平和を与えたまえ」では、舞い上がるような高音を披露した。アンコールで選んだのはフツチーニのオペラ「トスカ」を代表するアリア「歌に生き、愛に生き」。ふくよかなソプラノに切なさをこめ、優美な音楽を作り上げた。